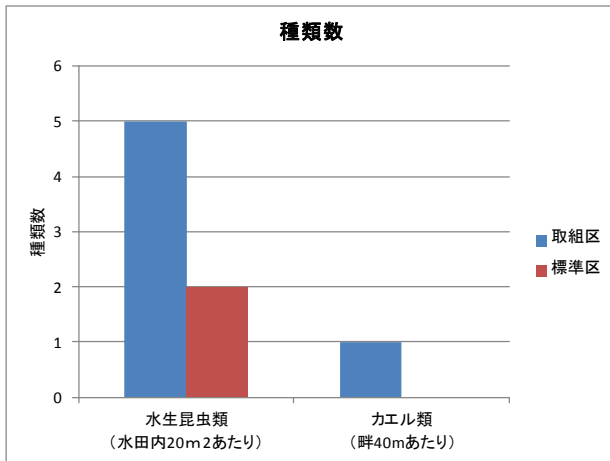


生き物緩衝地帯の設置

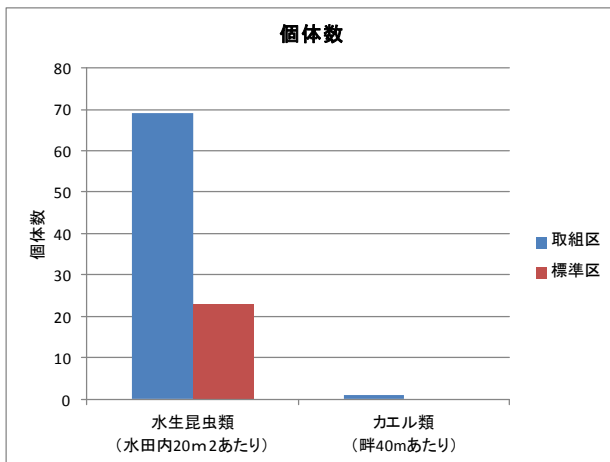
取組区と生き物緩衝地帯（水路）と標準区との比較

| 調査地点数: 1地点 | 種類数 | | 個体数 | | 多様度指数※ | |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|--------|------|
| | 取組区 | 標準区 | 取組区 | 標準区 | 取組区 | 標準区 |
| 水生昆虫類(水田内20m ² あたり) | 5 | 2 | 69 | 23 | 0.44 | 0.26 |
| カエル類(畔40mあたり) | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



生き物緩衝地帯の水路と水田（鯖江市）



多く確認された水生昆虫類（コミズムシ）



生き物緩衝地帯で確認されたメダカ

生き物緩衝地帯の取組区分において、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数および個体数は、取組区が最も多かった。

カエル類については確認個体数が少なく、取組区と標準区の差は確認できなかった。

多様度指数は、水生昆虫類について取組区で高くなる結果となった。